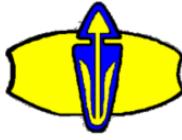


台小だより



生駒市立生駒台小学校

2026年1月22日

学校だより No.13

新しい年も一日一日を大切にして楽しく過ごしましょう！

新しい年 2026年を迎えるました。始業式の朝、子どもたちはみんな笑顔で登校し元気な挨拶と冬休み中の楽しいお話をしてくれて幸せを感じました。以前、講演で「幸せだと考えるだけで、前向きになり色々なことが上手くいき勉強もできるようになる。」とお聞きしました。起こる出来事や状況は変えられなくても、幸せか不幸かは自分自身の考え方で変えることができます。始業式では「幸せな学校にするために、いつも幸せだと考えるようにならう。」とお話をしました。

3学期は学校へ来る日が一番少ない学期ですが、次の学年につながる大事な学期です。一日一日を大切にし、学習や生活のまとめをしっかりして友だちをお互いに思いやりながら楽しく過ごしてほしいと思います。

台小ウインター スクール（お正月あそび・昔あそびを楽しもう）



12月25日に、地域学校協働本部を中心にたくさんの方々にお世話になり台小ウインターハイスクールを実施しました。



80人程の児童が参加してくれました。けん玉名人のパフォーマンスでは、すばらしい技をたくさん見せてもらいました。地域の方々に作り方や遊び方を教えてもらいながら「こま回し」「お手玉」「紙ひこうき」「けん玉」を時間いっぱい楽しみました。



「心もち運動」募金

生駒市内にある福祉施設で生活している人に善意の心の餅を送ろうということから始まった運動です。本校ではJRC委員会が朝から靴箱の所に立って募金活動を行ってくれました。ご協力ありがとうございました。

♪ 芸術鑑賞会 中国雑技芸術団 ♪



創立60周年記念行事の一つとして育友会主催の芸術鑑賞会を行いました。身長より高い一輪車や、一瞬で変わる変面、皿回し…。こま回しの体験もあり、素晴らしい技の数々に楽しい時間があつという間に過ぎました。



学校評価 保護者アンケートの集計結果

昨年末にご協力いただきましたアンケートの集計結果をお知らせします。

ご多用のなか、ご協力いただきありがとうございました。

今年度の学校評価をすすめ、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。



令和7年度生駒台小学校教育に関する保護者アンケートの結果

実施日 令和7年12月 回答数 486人(家庭数558)

※数字は、肯定的な回答(そう思う・だいたいそう思う)のパーセンテージ(%)

| | | R7年度 | R6年度 |
|---|--|------|------|
| ① | 学校は、子どものことについて相談に適切に応じている。 | 86.4 | 88.2 |
| ② | 学校は、道徳や学級会活動等を通して、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。 | 72.8 | 76.9 |
| ③ | 学校は、子どもとともに清潔な環境美化に努めている。 | 79.0 | 79.5 |
| ④ | 家庭では、子どもと、話を聞いたり話したりする時間をできるだけ多くもっている。 | 94.2 | 93.2 |
| ⑤ | 子どもには家庭学習の習慣が身についている。 | 71.0 | 71.5 |
| ⑥ | 子どもは、好き嫌いのない食事をし、早寝・早起き・朝ごはんと体を使う運動(外遊び)をしている。 | 78.2 | 77.5 |
| ⑦ | 学校は、ホームページやX(Twitter)・台小だよりを通じて、教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。 | 88.9 | 87.2 |
| ⑧ | 子どもは、地域(校区)の知っている人に会ったら、いつもあいさつをしている。 | 66.0 | 67.1 |
| ⑨ | 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。 | 76.7 | 78.3 |
| ⑩ | 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。 | 87.9 | 88.2 |
| ⑪ | 学校は、タブレット端末などICT機器を活用した教育をすすめている。 | 81.9 | 79.1 |

今年度も『「学校に行くことが楽しみ」と誰もが思える台小』を目指して教育活動を進めてきました。①⑩の評価は高いながらも少し下がっていて、②⑨についても評価が下がっています。子どもたち一人一人の思いに寄り添った教育を改めて大事にするとともに、これからより更なる取組の充実が求められていると感じています。

⑪の評価が上がっています。今後も、ICT機器等を活用して個に応じた学習や授業改善を進め、子どもたちが自分らしく楽しく学べる環境を整えていきたいと思います。

⑦については、日常の教育活動や子どもたちの様子を、台小だよりだけでなく、X(旧Twitter)を活用して積極的に発信していますので、ぜひご覧ください。

今後、児童アンケートや学校自己評価とあわせ検証し、今年度の成果と課題について分析・吟味し、よりよい学校づくりに取り組んでいきたいと思います。